

2026年5月28日

洋上風力発電計画

YACかわら版 717

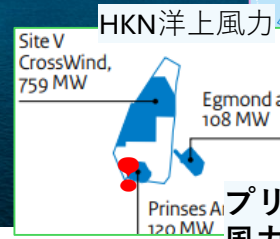
洋上風力発電

コペルニクスブラウザ v

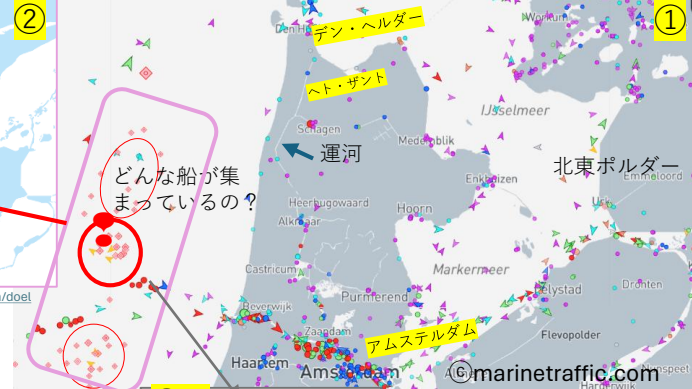
②-3

HKL 建設のころ

©三菱商事



プリンセス・アマリア風力発電所



どんな船が集まっているの？

ノルトホルント運河はかつてのように物資運搬などに使用することは少なくなり、今日ではレジャーなどに関わる船の利用が多いようです。

AIS船舶位置情報を扱うマリントラフィックサイトで、運河を調べてみました。運河を利用している船が南部に多いのに気づきます。アムステル港の混雑ぶりにはおどろきます。港外に入港待ちをしている船が多い中、半島の沖合に (船種：航法援助) が大量に広がっています。多くの場所では群のようにみえます。①日本でも狭水道や港の近くで見かけますが、円形を描いている地点が気になります。さらに調べてみました。海上高压変電所や風力タービン等です。

ここは2008洋上から稼働している風力発電所 プリンセス・アマリア風力発電所 (PAWP) です。①-2 ②②-3

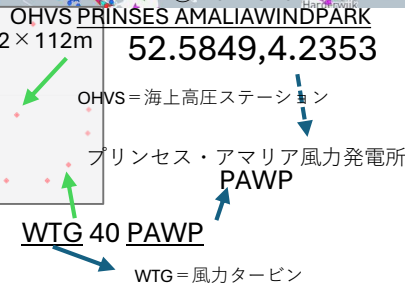
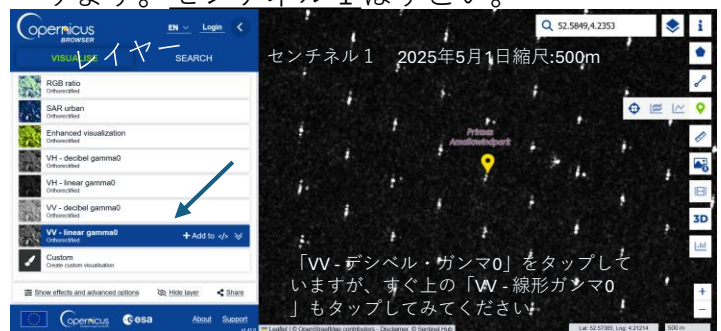
PAWPは60基の風力タービンで120MW発電しています。海岸から約23kmの沖合水深約20mの海底に設置しています。②-3



コペルニクスブラウザは、電波を用いて全天候で観測しているセンチネル1衛星のデータも利用できます。次の共有URLをタップしましょう。

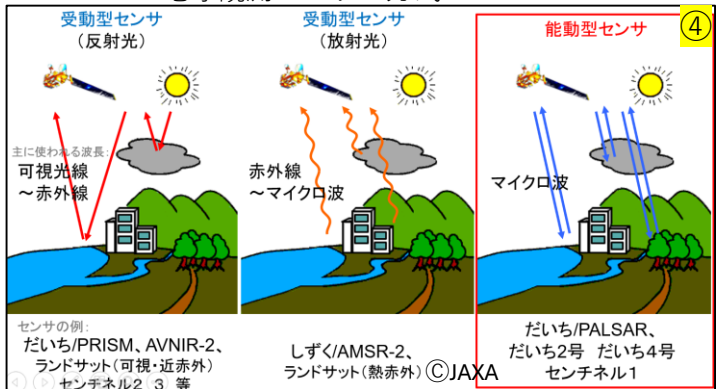
<https://link.dataspace.copernicus.eu/rzz5>

観測時刻は異なりますが、風の方向が想像できますね。③→10:56 ⑤→05:57
もっと海面の様子・風の方向を調べたくになります。センチネル1はすごい。



センチネル 1-A / 1-B / 1-C / 1-D の4基打上。1-Bは運用中止。他の3基を現在運用中。衛星の回帰日数は12日。まもなく1-Aの運用は終了見込み。軌道高度約693km。電波を用いる全天候で観測可能なSAR衛星。

地球観測センサの方式



チャレンジ課題

PAWPのような洋上風力発電所をオランダで探ってみませんか。